

平成23年度青梅市市民協働事業推進会議・青梅市協働事業
市民推進委員会合同会議概要

平成23年12月7日
市役所2階202会議室
10:02～11:40

出席者：推進委員 8人、推進会議 8人、事務局 2人

1 あいさつ

川崎委員長、恒益会長

2 自己紹介

各委員

3 報告事項

(1) 青梅市協働事業推進委員の設置について（資料1）

事務局から報告

- ・要綱を設置した
- ・基本的には各課に1名以上
- ・各課における協働事業の推進および協働の啓発のために設置する

質疑応答

委員：市民団体が提案するときは各課の推進委員に提案を持っていくのか、それとも市民活動推進課に持っていくのか。

事務局：市民提案制度がまだ確立していないが、まず窓口として市民活動推進課で受けてから各課に投げかける流れを考えている。

委員：推進委員の任期が1年となっているが、期間が短いのではないか。

事務局：職員の異動をふまえて1年とした。ただ、再任は妨げないので担当した職員が異動しない限りは継続してもらえると想定している。

4 協議事項

(1) 研修視察について（資料 2、3、4）

事務局から説明

- ・ 1月27日（金）実施
- ・ 年内に質問事項をいただきたい

質疑応答

委員：提案制度は協働ナビに書かれているものを制度化するのか。

会長：そうである。

委員：既存事業も全て提案制度を活用するようになるのか。

事務局：既存事業については考えていない。

5 意見交換会

- ・ 協働事業を行う際に、口を出しすぎたり、任せっきりにならないようにと職員は気を使うことが多いのかどうかについて
- ・ 事業に対するミッションや情熱について
- ・ 市民と行政の顔と顔が見える関係について
- ・ 地域と密着した市民センターについて
- ・ 青梅のイメージをあげるための協働事業について
- ・ ゴミ出し、買い物ボランティアについて
- ・ 各観光施設でのガイドボランティア育成について

－閉会－